



# ひかりのこつうしん No.9

## 「地球の事を考えるおはなし」

ひかりの子幼稚園  
2023年1月

クレヨンハウス編集

1月の平和を祈る日に、園児のお母様が年長組の子ども達に「地球の事を考えるおはなし」をしてくださいました。「ありのままを伝えること」「恐怖を植え付けないこと」に配慮して資料を準備して下さいました。お母様は kokebee(こけびー)というオーストラリアの団体に入って「繰り返し使えるみつろうエコラップ」をひろめておられ、できるだけごみを出さない生活、地球にやさしい暮らしを心がけておられます。

1回使ってすぐに捨ててしまうラップと違って、「みつろうエコラップ」は使った後、洗って乾かせば何度でもまた使えます。実際に手に取り触らせてもらったり、匂いをかがせてもらいました。この動物柄のラップは手入れをしながらなんと6年も繰り返し使っているとか！お皿にピタッとフィットして、私も使ってみたくと思いました。



6年選手のみつろうエコラップ

エコラップは柄もかわいい

プラスチックでできているラップやビニール袋はとても丈夫で手軽で便利で、私たちの生活に欠かせないものとなり身の回りに溢れています。1回でポイ捨てしたプラスチックのゴミはどんどん増え続け、処分が間に合わなくなっています。その溢れたゴミが世界中の海に漂流し、動物達が餌と間違えて食べたり、傷ついている現実があることを写真を見せて教えてくださいました。

捨てられた古い漁業用網に絡まってしまったウミガメの写真を見て、子どもたちは「かわいそうや」「ごみ捨てたらアカン」と、まるで自分のことのように、顔を歪めて見入っていました。

漁業用網に引っかかったウミガメ



絵本 「プラスチックモンスターをやっつけよう！」より

ビニール袋をクラゲと間違えるウミガメ



ekotopia より

この日の「平和を祈る日」は年長組以外のクラスでも、各担任から「プラスチックごみ」の話を読み、動物たちが傷ついている写真を見ました。知らない現実を写真から知り、幼い心の中には何かが芽生えたようでした。あるクラスではユニセフが配信している「プラスチックの海」という動画をホールで見ました。

海に打ち上げられた海鳥の死骸のお腹を切り裂いてみると、餌と間違えたプラスチックがなんと234個もお腹の中にいっぱい詰まっていた。動画を見た後、クラスで真剣な話し合いが持たれました。

○鳥がかわいそう

- 鳥のおなか切られてちょっと怖くて、気持ち悪かった
- ごみを捨てた人を注意したくなった
- じゃあ看板立てたらいいね
- リサイクルしなくっちゃと思った
- 今日知ったことをたくさんの人に言ったら、ごみを捨てる人が少なくなって、世界がきれいになるかも……

自分達が何気なくしていることが、地球をゴミだらけにしていることに気づききっかけになり、純粋な子どもだからこそ真剣に受け止めてくれたのだと思いました。

またごみを出さない工夫も、その日お母様から教えて頂きました。

- ペットボトルやラップはなるべく使わない
- 壊れたら直して使う
- 長く使えるものを買う
- ビニール袋に入っていない野菜や果物を買う

お話を聞いた翌朝、ある年長組のお子さんが「お母さん、これまだ使える！」「これはプラスチックごみでリサイクルやな！」とごみ箱をひっくり返していたというエピソードを聞き、子どもの行動力に感動し、うれしくなりました。

kokebee(こけびー)の活動として、環境問題が自分たちの生活と密着していることを、より多くの親子に知ってもらいたいという願いを込め、小さい子ども達のために絵本を作ることに取り組んでいることも知りました。

2月の「平和を祈る日」の献金の一部は、その絵本作りの活動のための「クラウドファンディング」に捧げたいと思っています。各クラスでもその取り組みをお話していく予定です。



私自身も大いに刺激を受け、身近なことから始めようと思いました。

生ごみの9割が水であることを知り、まずは野菜ごみを乾かすことから取り組んでいるところです。

実を言うと若いころ、コンポストに挑戦したことがあるのですが、生ごみの乾燥や土の管理が不十分で大量のカビ、虫の発生におじけづき、1年もせずに放棄してしまった苦い思い出があります。今回はコンパクトサイズのコンポスト容器(※)を使って基礎知識も学びながら、捨てない暮らしを楽しく続けていきたいなあとと思っています。



野菜ごみ



土に混ぜる

- ① 野菜ごみをざるの上で乾かす
- ② 乾いたら土に混ぜる
- ③ 熟成させる
- ④ 堆肥として花、野菜作りに使う

(※)コンポスト容器とは家庭から出た生ゴミを土と混ぜて入れることによって、土の中の微生物等の働きにより、堆肥に変えるお手伝いをするための容器のことです

また、タッパーなどの保存容器で間に合うものに、むやみにラップを使わない生活を意識するようになりましたことも、私の小さな変化です。

職員室横に「地球にやさしいお話コーナー」を設置しました。環境の絵本を今後も取り揃えていく予定にしています。園庭開放の時など、ぜひお子様と一緒に手に取ってくださればと願っています。

寒さが一段と厳しくなってきましたが、3学期、進級進学への期待に胸を膨らませている子どもたちを全力で受け止め、楽しい毎日を送っていきたくと思います。

園長 松本直子